

英文分析のルール

【大前提】

英語は「構造支配」の言語なので、文構造を理解することは、英語を理解する上で不可欠である。

【ルール】

1. **[K]** : **S / V / O / SC / OC** は、その英文の構造上・内容上、不可欠の要素である。
2. 「前置詞句」を代表とする「形容詞」が入ることができるのは、**[K]** のなかで **SC / OC** だけ
I looked at Mary. **[K2]** 私は Mary を 見た。 **[K2]**
I put my bag on the table. **[K5]** 私は 私のバッグを そのテーブルの上に 置いた。 **[K5]**
3. 「～について」の of～ / about～ の「前置詞句」は、例外的に **O** に入る
I know about him. **[K3]** 私は 彼について 知っている。 **[K3]**
4. 英語は動詞が **[K]** を決定するが、1つの動詞が複数の **[K]** を持つことは多々ある。
I studied. **[K1]** 私は 勉強した。 **[K1]** I studied English. **[K3]** 私は 英語を 勉強した。 **[K3]**
5. Be 動詞は 100% **[K2]** である。
I am studying English. **[K2]** 私は 英語を勉強している。 **[K2]**
My car was broken. **[K2]** 私の車は 壊された。 **[K2]**
I am going to play tennis. **[K2]** 私は テニスをするつもりだ。 **[K2]**
6. **[AD]** は修飾語句（飾り付け）であり、その英文の構造上・内容上、無くとも良い要素である。
「いつ・どこで・どのように・なぜ」は基本的に **[AD]** に分類する。
I studied English for 2 hours. **[K3]** 私は 2時間 英語を 勉強した。 **[K3]**
7. 句動詞と前置詞句の区別をつける
句動詞の定義：動詞と合体して、その動詞の意味を発展的に変化させる
I turned on the radio. **[K3]** 私は そのラジオを つけた。 **[K3]** (turn on 「スイッチを入れる」：句動詞)
前置詞の定義：名詞を目的語として（名詞の前について）その名詞を **[AD]** / **[FA]** または **SC / OC** にする
I turned on the radio. **[K1]** 私は そのラジオの上で ターンした。 **[K1]** (大きなラジオです 😊)
8. **O** に前置詞句が入ることはできない。**O** に準拠する前置詞句は **SC** になる。
I saw Mary. **[K3]** 私は Mary を 見た。 **[K3]** : see は「見える」という状態
I looked at Mary. **[K2]** 私は Mary を 見た。 **[K2]** : look は「見る」という動作
cf. I looked but saw nothing. **[K1]** **[K3]** 私は 見た(目を凝らした) しかし 何も 見えなかった。 **[K1]** **[K3]**
9. 前置詞句が **SC / OC** なのか **[AD]** なのかの決定の仕方
I looked at Mary. **[K2]** 私は Mary を 見た。 **[K2]** : at Mary は構造上・内容上不可欠である
I looked for a moment. **[K1]** 私は 一瞬 見た。 **[K1]** : for a moment は構造上・内容上無くとも良い要素
10. 文の内容のどこに重きがあるのかで **[K]** が変わるパターン：このパターンは **OC** なのか **[AD]** なのか微妙
Did you watch the movie? あなたはその映画を見た? という質問に対する答えは **[K3]**
Yes, I watched it on TV. **[K3]** 私は テレビで それを 見た。 **[K3]** : on TV は無くとも良い
How did you watch the movie? あなたはどのようにその映画を見たの? という質問に対する答えは **[K5]**
I watched it on TV. **[K5]** 私は それを テレビで 見た。 **[K5]** : on TV は不可欠